



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは
こうへい
山田耕平
です

2024.2.15 No.503

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを
ご活用下さい



杉並区議会第一回定例会で代表質問 来年度予算編成の前向き変化 住民福祉の向上へ 党区議団の提案が実る

2月9日から杉並区議会第一回定例会が始まりました。会期は3月18日までの約一カ月の議会となります。今定例会では、杉並区の来年度予算案について審議が行なわれます。

代表質問への区長答弁 様々な施策が大きく前進

岸本区政に変わり一年半が経過し、2度目の本格予算となりますが、杉並区が他区に後れを取っていた様々な施策が、大きく前進し始めています。



代表質問では、震災対策の強化をはじめ、物価高騰対策、福祉、教育、人権など各施策について拡充を求めました。

質問に対し、いくつもの前向きな答弁・姿勢が示されました。

■給食費無償化対象拡充 私立や不登校児童生徒も対象へ

昨年10月から始まった区立学校の学校給食費無償化は継続し、あらたに国立や私立に通う児童生徒にも給食費相当額にあたる給付金が支給されます。質問への答弁では、不登校児童生徒にも給付金を支給することが示されました。

■学校トイレの洋式化率23区最下位から、5年で100%へ

学校トイレの洋式化は、前区政のもとで大きく立ち遅れ、23区中23位であることが判明。震災救援所の機能強化も含め早期に洋式化を進めることを求めたところ、5年間で100%に近づけると答弁がありました。

■補聴器購入費助成「制度開始の意義大きい」さらなる周知と充実へ

昨年6月から始まった高齢者の補聴器購入費助成制度について、区長は「制度を開始した意義は大きい」との認識を示しました。制度周知に力を入れ、補聴器相談医確保や認定補聴器技能者によるアフターケア等の充実に努める、と答弁しました。来年度は418名分の予算を計上しています。

■生活保護制度 周知ポスター作成へ

岸本区長は生活保護制度を利用しやすくするための周知ポスターを作成することを表明。また、親族に扶養の可否を問い合わせる「扶養照会」について、区は、今年度から申請者の意思に反して行なうことをやめています。照会率が約29%まで下がったことが示されました。

■パートナーシップ制度は異性間の事実婚カップルも対象検討へ

性的マイノリティのカップルを自治体が認証する「パートナーシップ制度」は、1月末時点で25組のカップルが登録。今後は、異性間の事実婚カップルも対象にすることを検討、と表明しました。

その他、多くの施策が前進しています。

引き続き、杉並区政の前向き変化をさらに進めるために論戦に取り組みます。

傍聴にお越し頂き、ありがとうございました!

録画映像は杉並区議会ホームページでご覧になれます。

今後の質疑日程は、以下の通りです。

- ・ 2月21日(水) 保健福祉委員会
- ・ 3月1日(木) 道路交通対策特別委員会(外環)
- ・ 3月5日~15日 予算特別委員会

ガザ地区の停戦等の実現を 全会一致で決議

パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において、尊い人命が深刻な危機的状況にさらされるとともに、市街地に甚大な被害をもたらしている。

よって、杉並区議会は、イスラエルとハマスの双方をはじめとする全ての当事者及び国際社会に対し、一刻も早い事態の解決に向けて、次の事項を実現するよう強く求めるものである。

- 1 人道目的の停戦及び人質の即時・無条件の解放
- 2 国際人道法を含む国際法の遵守
- 3 民間人の被害の最小化、人道支援物資の供給を通じた人道危機の改善

以上、決議する。

令和6年1月25日

杉並区議会

人道目的の停戦を求め 会派の違いを超えて協働

1月25日に開催された杉並区議会第一回臨時会において「パレスチナ自治区ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議」を全会一致で可決しました。

昨年末、パレスチナ自治区ガザ地区における軍事衝突が深刻化し人命が危機的状況にさらされているなか、交渉会派幹事長間の協議により、杉並区議会として停戦を求める決議を上げることが検討。

第一回臨時会において、杉並区議会として決議を上げるために、議会運営委員会全員が連名で議員提出議案を提出しました。会派の違いを超えて協働が広がったことは重要です。

各会派の一致点による決議のため、複数の課題もありますが、引き続き、国際平和の実現に向けて、杉並区議会として積極的な役割を果たすよう働きかけていきます。



くすやま議員が連合議会議員として論戦

後期高齢者医療保険料 大幅値上げ 広域連合議会が可決 日本共産党は反対

1月31日、東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会で、75歳以上高齢者の保険料を、ひとり当たり現行の年額10万4842円から6514円(6.2%増)値上げし、11万1356円とする予算と条例改定が賛成多数で可決されました。

連合議会議員として、くすやま議員が論戦

日本共産党のくすやま美紀議員と、小林憲一議員(多摩市議)は反対しました。

大幅値上げとなった要因の一つは、岸田政権が後期高齢者に新たな負担増を押しつけたためです。

岸田政権は、出産育児一時金の拡充の財源の一部を新たに後期高齢者に負担させることや、後期高齢者医療制度の財源に占める後期高齢者の負担率を、今年度11.72%から、来期は12.67%に引き上げました。これにより、一部の所得層では、来年度に引き下がるものの、再来年度にはその分が大きく値上げになってしまうなど、全ての後期高齢者が値上げになります。

くすやま議員は「都広域連合が、保険料負担抑制のため、剰余金の活用額を増額し、都に財政安定化基金の活用を要請したことは評価するが、物価高騰や年金削減が高齢者の暮らしを直撃しているもとで、大幅値上げは容認できない」と主張。「剰余金の更なる活用とともに、再度、都と協議して財政安定化基金の活用を行うことも含め、あらゆる努力で、値上げではなく値下げすべき」と求めました。

生活相談実施中 ご相談ください

税金や国保、年金など、区政・生活についてのご相談をお受けしています。お気軽にご連絡ください。弁護士・税理士等もサポートします。毎週水・金の午後、法律相談会も実施中です。

山田耕平携帯：090-9973-0941

今週の一コマ

娘のクラスが学級閉鎖… みなさんもお気を付けください

巷では、感染症が大流行しているようです。特に、インフルエンザと新型コロナが同時に流行しているそうです。学級閉鎖の場合は、不要不急の外出は避け家で過ごす(自習も含めて)こととなります。お昼の手立て等々、保護者も大変です。みなさんくれぐれもお気を付けください。